
私はXXX。

月白ありす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私はXXX。

【Nコード】

N60880

【作者名】

月白ありす

【あらすじ】

人間ではない少女の物語。

彼女は人間の中にまぎれ生きている。

人間に似すぎている彼女、周りからは不思議ちゃんと呼ばれ、そんな彼女に興味を抱く人も……。彼女の正体はXXX。彼女のまわりは今日もいつもと変わらず。少し変な、でも少し暖かい物語。

(前書き)

初めて書いたものなので、色々いたらない点もあると思いますが暖かく読んでいただけたらなと思います。

ある少年が少女に言った。

『俺、実は人間じゃないんだ』

『ふーん、まじか』彼女は卒業証書をランドセルに入れながら言った。

少年は、ランドセルを背負い彼女に言った。

『驚かねえのか？』

少女は男の子の方を向き言った。

『別に。私が知らないだけで、世の中には人間以外の生物なんて山ほどいるだろうし、驚く理由がないんだけど。』

二人だけの教室の中、彼のため息はとてもはっきりと聞こえた。ランドセルを背負い彼女に言った。

『・・・お前って、やっぱ変だよ。そんなの嘘に決まってんじゃん。俺が人間じゃなかったら何なんだよ。中学では浮かねーようにそうゆう事言うのやめとけよ。じゃあな。』彼はそう言うのとドアを開け教室を出て行った。

小学校の卒業日、少年は彼女に告白をしようとした。が、何を間違えたのか、彼は自分が人間じゃないと言った。

少年が教室から出た後、顔が真っ赤になり親のもとに走った事を少女は知らないだろう。

『・・・私、人間じゃないんだけど』

少女は教室で一人寂しくこの言葉をつぶやいた事を少年は知らないだろう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6088o/>

私はXXX。

2010年10月31日00時47分発行